

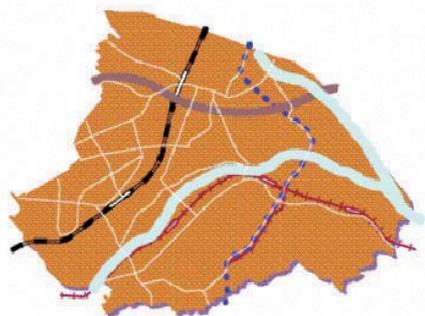
よくわかる 2020 プラン

ともに創ろう

心つながる 夢のまち 日野

～水とみどりを受けつごう～

平成 23 (2011) 年度～平成 32 (2020) 年度



犬の顔した日野市。
あなたのお住まいは、目？耳？
それとも口？のどですか？



2020 プランは、第5次日野市基本構想と基本計画の総称です。まちづくりの方向性を表す基本構想と、その実現のための施策展開を示す基本計画からなります。このパンフレットは、2020 プランのあらましをまとめたものです。詳しくは、2020 プラン冊子をお読みください。

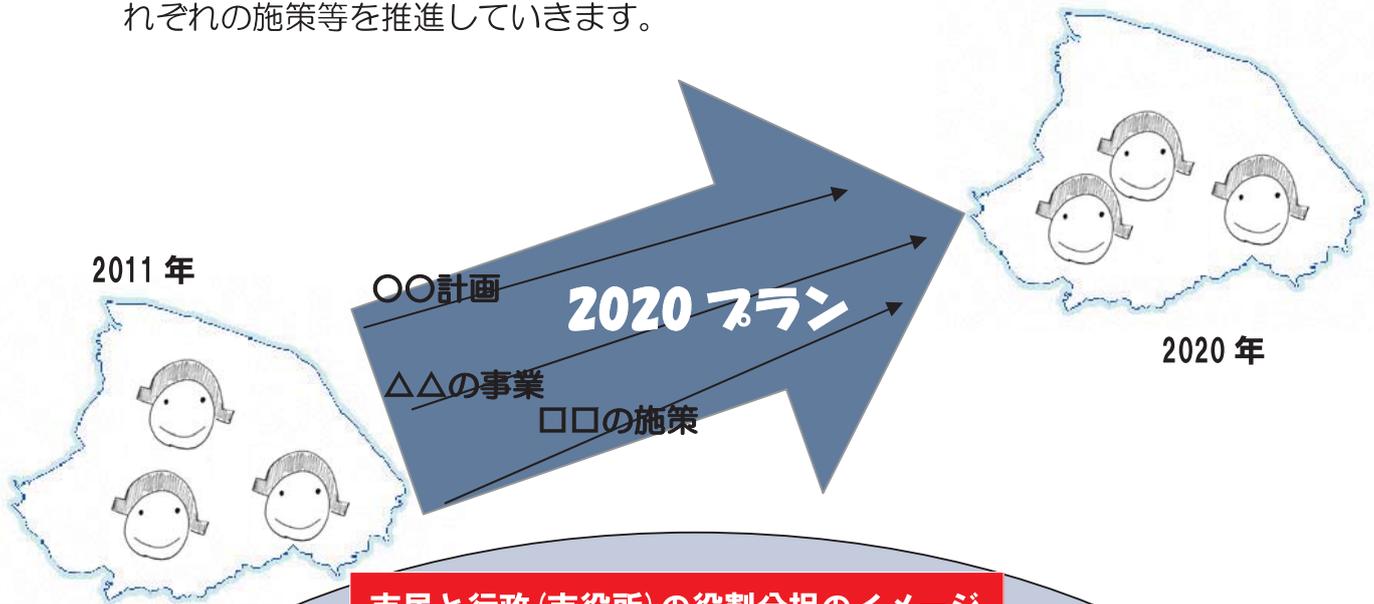


日野市の最上位の計画が 2020 プランです

第 5 次日野市基本構想・基本計画（2020 プラン）の位置付け

日野市は市民と市役所が力を合わせて公民協働によるまちづくりを進めます。10年の間に、どのようにまちづくりを進めていくか、市役所だけでなく、地域全体で課題を共有し、市民と市役所の協働により実現を目指す計画が2020プランです。

2020プランは日野市における最も上位の計画で、これに従って分野ごとにそれぞれの施策等を推進していきます。



市民と行政（市役所）の役割分担のイメージ

市民

まちづくりの主役です！

- ・ひとりひとり、家族、ご近所、学校など、それぞれがより良いまちにするために考え、ともに協力しあいます。
- ・2020プランでは、「公民協働」という考え方をもとにしています。
- ・協働によるまちづくりを市とともに積極的に進めます。

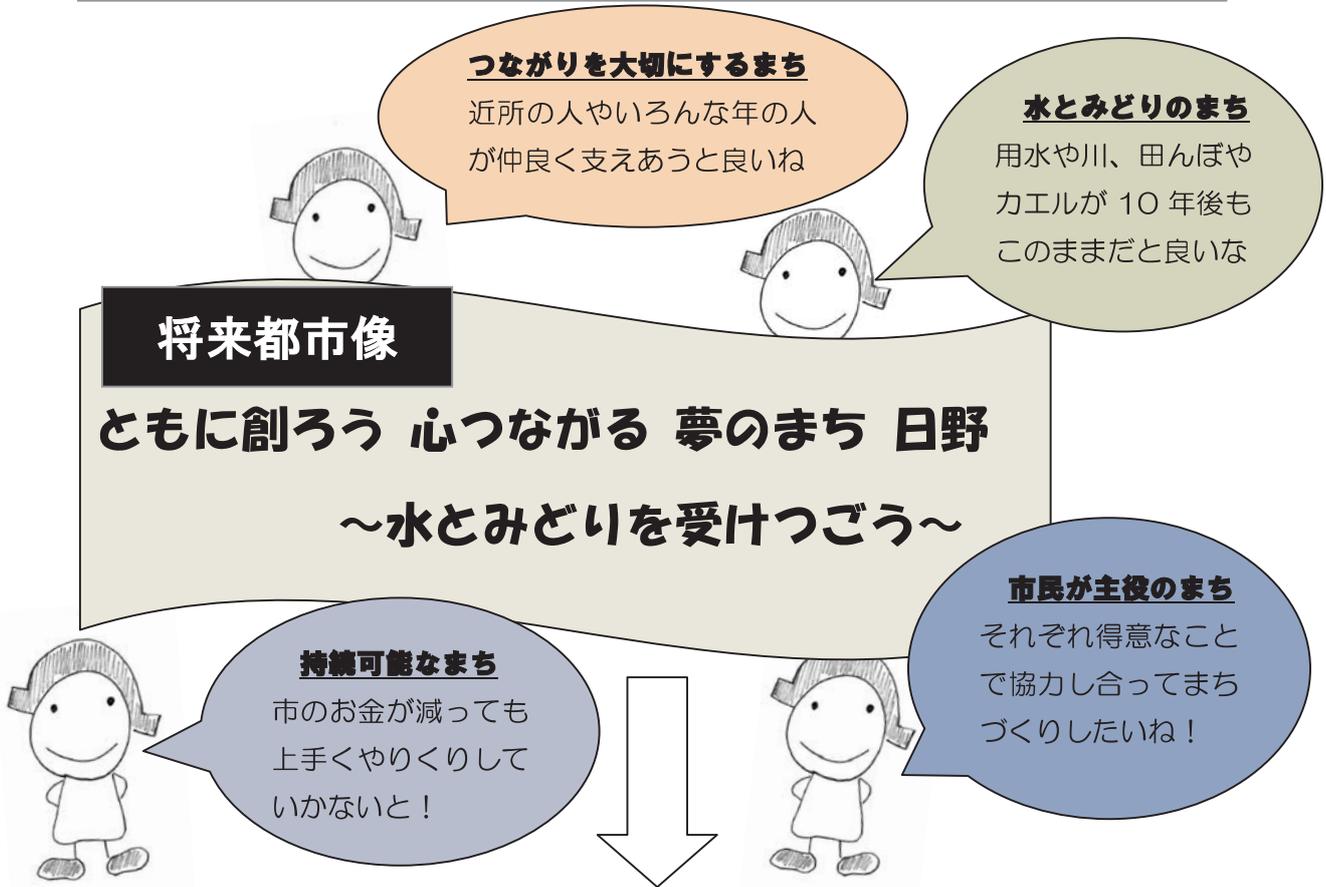
行政（市役所）

- ・市民みんなが楽しくまちづくりに関われるよう工夫します。
- ・地域の人の暮らし良い生活を常に考えます。
- ・まちづくりに能動的に関わる市民の皆さんと一緒にまちづくりを進めます。
- ・真に支えが必要な人へのセーフティネットを確実に整えます。

Q. 基本構想ってなんだろう？



A. どんなまちにしたいかな…というイメージを示したものです。



実現に向けて次の7本の「まちづくりの柱」のもと、日野市は仕事を進めていきます。

柱1 参画と協働のまち

柱2 子どもが輝くまち

柱3 健やかでともに支えあうまち

柱4 ひのびと 日野人・日野文化を育てるまち

柱5 自然と調和した環境に優しいまち

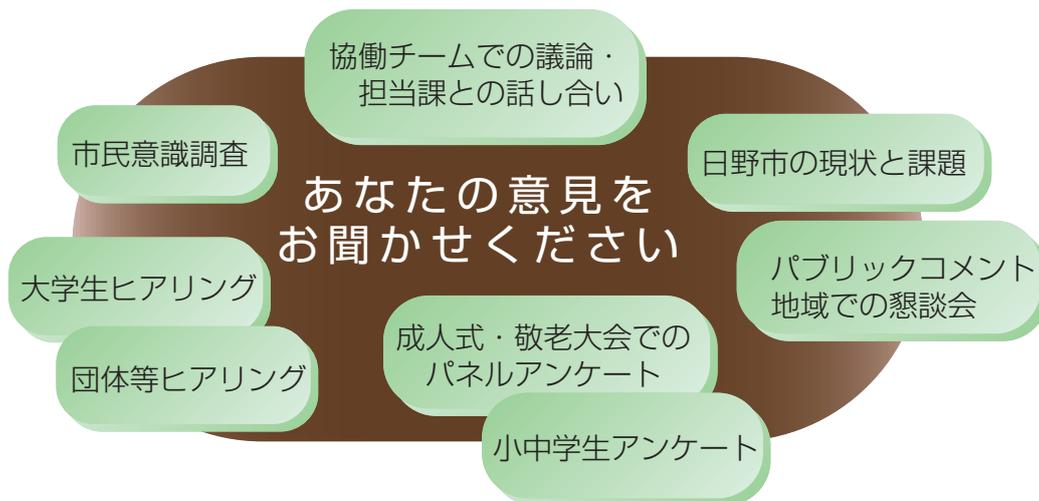
柱6 安全で安心して暮らせるまち

柱7 地域の魅力を活かした活力あるまち



Q. どのように決められたの？

A. 市民意識調査、市役所での現状の把握や、市民の皆さんとの「協働チーム」で議論をしたり、途中段階でもいろいろな人から意見を聞いたり・・・約 1 年間をかけて、策定作業を進めて、最終的に市議会で議決してもらいました。



Q. じゃあ、基本計画ってどんなもの？



A. 基本構想に掲げる「将来都市像」を実現するために、市民や市が何をしていくのかを示したものです。

基本計画では、7本の柱の下に48の基本施策をまとめました。詳しくは次のページから説明しています。

10年後のまちの姿を10年後の市民に語ってもらい（フィクションです）、それぞれの柱について概要を紹介しています。

柱1：参画と協働のまち

■～10年後のまちの姿～ 平成32年の市民の声 平成23年当時55歳の男性の話

「公民協働」って、市が言い出したときには、びっくりしたよな。でも、あれから10年、地域の人たちや市と協力しながらいろいろな問題を解決してきたし、「公民協働」が板についてきたと思うよ。

市からも分かりやすく、いろいろな手段でまちづくりに関する情報が出されて、いろいろ考えやすくなったよ。長期的な視点で市役所もしっかり動いているし、近くに住む孫の世代にツケを払わすことはないよな。

会社を退職した後に、自治会活動やボランティアに参加するようになったよ。いろいろな人と知り合えて、会社で仕事をしていた時よりも充実した時間を過ごせている気がする。意外だよ。これからの人生を豊かにするためにも、地域の人たちとのつながりを大切にしていこうかな。



柱1のあらまし

柱1では、市と市民の皆さんの「協働」「つながり」「市の運営」について述べています。市民の皆さんに市が「何を」「どのように」サービスしていくのか、市民の皆さんには、どんなことをお願いするのか、また、日野市が日野市であり続けるために、考えなくてはならないことが書かれています。男女平等、人権・平和といった大切なことからも含まれます。

■基本施策名

- 101 公民協働の仕組みと場づくり
- 102 心ふれあうコミュニティづくり
- 103 市民とのコミュニケーションの強化・充実
- 104 男女平等のまちづくり
- 105 人権と平和を尊重したまちづくり
- 106 経営的視点に立った行政運営
- 107 持続可能な財政運営
- 108 職員の育成と機能的な組織運営
- 109 行政財産の適正な管理と普通財産の有効活用
- 110 便利で快適な窓口・市民サービス



柱2:子どもが輝くまち

■～10年後のまちの姿～ 平成32年の市民の声 平成23年当時25歳の女性の話



子どもの声っていいものですよね。うるさいときもあるけど、まちに賑わいを感じられます。公園に一人も子どもがいなかったけど、だんだん増えてきてうれしいです。子育てがしやすいまちというのも全国で有名になりましたよね。

学校に行く子どもたちが楽しそうなこと。10年前には、学校になじめず大変、という子がけっこういたけど、今では、みんなウキウキと登校していますよね。

日野市の小学校も中学校も、それぞれの学校が特徴を持っているわよね。お隣りの子ども、どこの学校に行こうか迷っていたけど、結局、通いやすい〇〇中に行っています。毎日、部活動で忙しそうだけど、充実している様子です。

柱2のあらまし

次世代を担う子ども「ひのっ子」が伸びやかに育つことをめざすという視点からまとめたのが柱2です。子育て、子育ちを、地域や親を育てることで推進し、さらに、安全で安心な学校とし、子どもの個性を活かしながら健やかな成長をめざしていこうという内容が書かれています。また、すべての子どもを適切に支えていくことについても述べています。

■基本施策名

- 201 親が育ち子どもも育つまちづくり
- 202 人のつながりを活かした育てあうまちづくり
- 203 次世代のひのっ子を育てるまちづくり
- 204 発達に遅れや偏りのある子どもの支援
- 205 安全で安心な教育環境の整備
- 206 一人ひとりを大切にする教育支援
- 207 地域に根ざした特色ある学校づくり・時代とともに歩む教育
- 208 生きる力を育み、楽しく意欲的に学べる学習環境の創出



柱3：健やかでともに支えあうまち

■～10年後のまちの姿～ 平成32年の市民の声 平成23年当時75歳の男性談

私たち年寄りが元気なまちっていいだろ。子どもが危ないことをしたときにもしっかり叱ってやれるからな。人生90年時代。長く生きて、よかったという気持ちでいたいよ。いろいろ生きがいをもって社会参加できるいろいろな場ができて、私たちのような生き生きとしたお年寄りがキラキラしている、そんなまちになったな。ハハハ。

健康で長生きできる。ほんと素晴らしいよ。かかりつけのお医者さんも親身になって相談にのってくれるし、いざとなれば大きな病院に行くことができる、安心できるよな。



柱3のあらまし

柱3では、だれもが、いつまでも元気に暮らせるまちを、みんなで作っていくことをまとめました。障害のある人もない人も、若い人もお年寄りも、みんなで支えあいながら生きていくことができる社会をめざし、真に支えが必要な方へのセーフティネットの整備をしていくことも述べています。また、地域での医療体制の充実と市立病院との機能分担・連携、勤労者福祉について書かれています。

■基本施策名

- 301 ころとからだの健康づくり
- 302 地域医療体制の充実
- 303 市立病院の充実
- 304 とともに支えあう環境づくり
- 305 生活の安定と自立への支援
- 306 雇用支援と勤労者福祉の充実
- 307 障害者の生活・自立の支援
- 308 高齢者の生きがいある生活の支援



柱4:日野人(ひのびと)・日野文化を育てるまち

■～10年後のまちの姿～ 平成32年の市民の声 平成23年当時10歳の女性談



まちを歩くと、いろいろなものが見えてくる。みんなで歩くと面白いし、そのたびに新しい発見もあるし。発見したことを発表する喜びもあるよ。「こんなこと知らないだろ」ということ自慢もできるし。小学校では、グループ活動で日野市のことをいやいや調べただけど。そのあと、自分で歩いてみたら、生まれ育ったまちのことって、ほんと知らないんだよね。一緒に歩いて調べる仲間もできたし、大学だけじゃなくて地元の仲間っていいよね。

見て歩くことも楽しいけど、趣味の仲間と過ごす時間ってほんといいよね。私は、バンドを組んで、ときどきちっちゃなライブをやったりして楽しんでる。忙しくてたいへん(´o`)v

柱4のあらまし

柱4では、ふるさと日野の文化を育て、次の時代へつないでいくこと、日野人(ひのびと)の生涯学習についてまとめました。歴史や文化、郷土資料について、また、図書館・公民館での学習活動の支援や充実のことも述べています。市民の皆さんが芸術文化に親しめるまち、国際化についてもふれています。

■基本施策名

- 401 生涯学習活動の支援
- 402 スポーツの振興
- 403 歴史・文化の継承と活用
- 404 郷土資料の継承と活用
- 405 図書館機能及び施設の充実
- 406 公民館での学習活動の支援と施設の充実
- 407 芸術・文化の振興
- 408 グローバルな社会づくり



柱5: 自然と調和した環境に優しいまち

■～10年後のまちの姿～ 平成32年の市民の声 平成23年当時20歳の女性談

すっかりこの散策路も歩きやすくなって、気持ちいいですね。

以前は、うっそうとしていて、なんか怖かったけど。いまは、とってもいい散歩道。

そういえば、10年くらい前からいろいろな市民の皆さんの、歩きやすい散策路にしようよ、という声が出てきて、下草を刈ったり看板を取り付けたり、市の人と一緒にやってきましたよね。おかげで、こんなに素敵な道ができて、通りすがりの人とあいさつが気軽にできるようになって。ほんと素敵なまちですね。



柱5のあらまし

日野は、自然豊かなまちです。柱5では、地球環境から身近な環境までについてまとめました。また、ごみ減量・処理について、公園や水路の管理、緑と水の保全、下水道についても述べています。市民の皆さんと一緒に、日野の良さを保ち、住みよいまちとなることをめざしています。

■基本施策名

- 501 地球環境政策の推進
- 502 自然環境の保全
- 503 ごみゼロ推進のまちづくり
- 504 廃棄物の適正処理
- 505 生活排水及び雨水処理の施設整備
- 506 生活環境の保全



柱6:安全で安心して暮らせるまち

■～10年後のまちの姿～ 平成32年の市民の声 平成23年当時50歳の男性談



あれは10年ぐらい前のことだったかな、東北から関東にかけて大きな地震があったよ。たくさんの被害が出て、ほんと大変だった。あのころからだったかな、地域のつながりは、それまでよりもすごく強くなったよね。Aさんの家には体が不自由なおじいさんが住んでいて、Bさんの家は日中は老夫婦だけになっちゃう、Cさんちは一人暮らし・・・プライバシーは守られなくちゃならないけど、そういうことって、地域で知っておきたいこと。それが安全なまちの証拠だよ。

そういえば、Dさんちのおばあちゃん、最近顔を見ないよ。ちょっとのぞいてみようかな。なんか、この前、変なセールスにひっかかりそうになったって言ってたから、ちゃんと見てあげなくちゃな。

柱6のあらまし

安全・安心は、生活すべてにつながる基本的な理念です。柱6では事故や犯罪等、災害から守られた安全なまちについてまとめてあります。地域をあげて防災・防犯意識を高め、困ったときに助けあうことができるまち・日野をめざします。

■基本施策名

601 事故や犯罪等から市民をまもる

602 災害から市民をまもる



柱7:地域の魅力を活かした活力あるまち

■～10年後のまちの姿～ 平成32年の市民の声 平成23年当時30歳の男性談



大きな工場が日野から出て行っちゃって、一時はどうなるかと思ったけど、その分、いろいろな技術を持った工場が脚光を浴びてきたよね。世界に誇れる技術を持った工場が、まだまだ日野にある、それを、日野から発信できる、そんな環境ができてきた。ほんと良かったよ。

それに日野らしい農業もすっかり安定して。都心からすぐのところで、こんなにいい畑が広がって、安全で安心な野菜や果物が手に入って、ほんといいまちになったよ、日野は。

柱7のあらまし

日野の特徴を活かしてまちを発展させ、バランスがとれたまちづくりを進めることで、さらに住みよいまち日野をめざすことを柱7では述べています。農業を含め、日野にふさわしい産業のあり方、発展の方向性などをまとめ、さらに多彩な観光資源を活かした活力あるまちをめざします。

■基本施策名

- 701 将来を見据えた都市環境づくり
- 702 利用しやすい交通環境づくり
- 703 安全で快適な道づくり
- 704 商工業の振興
- 705 農業の振興
- 706 自然と文化、新選組を活かした観光産業の振興





Q. 計画は、どのように実現されるの？

A. 公民協働でつくったものだから、これからも皆さんと一緒に。

第5次日野市基本計画には、48の基本施策のもとに、「施策の展開」として239項目が掲げられています。市では、これをもとに事業の展開をしていきます。

基本計画では、「市の役割」と「市民の役割」を明記しています。それぞれの役割分担のもと、将来都市像へ向かっていきます。そのときに、市民皆さんにお願いすることもあります。公民協働では、市と協力しながら、できることは市民皆さんの自らの力でやっていただくよう、お願いします。

事業の推進にあたっては、各年度に3年先を見越した実施計画を策定し、進捗管理を行い、その状況を随時市民皆さんに示していきます。



Q. 計画の見直しは？

A. 社会情勢の変化に応じて行うことも。

基本構想は、平成32年までの10年間を見据えて策定しました。策定にあたっては、議会の議決を経ていきますので、見直しを行う際には同様に議決が必要となります。

基本計画は、議決事項ではありませんので、社会情勢等の変化に応じて、見直しを行ってまいります。



Q. 内容について、もっと詳しく知りたいのだけど

A. 詳しくは、冊子をご覧ください。

2020プランの詳細は、冊子または日野市ホームページをご覧ください。

第5次日野市基本構想・基本計画の手引き

ともに創ろう 心つながる 夢のまち 日野 ～水とみどりを受けつごう～

平成23年(2011年)3月発行

発行：日野市 東京都日野市神明一丁目12番地の1
電話 042-585-1111 (大代表)
ホームページ <http://www.city.hino.lg.jp/>

事務局：日野市企画部企画調整課

協力：パシフィックコンサルタンツ株式会社